

令和2年国勢調査特集（第1回）

～ 百年目の国勢調査 ～

国勢調査は、国内の人口や世帯の実態を明らかにするため、我が国に住んでいるすべての人を対象として、5年ごとに行われる最も重要な統計調査です。

令和2年(2020年)に行われる国勢調査は、大正9年(1920年)の第1回調査から数えて21回目にあたり、100年の節目を迎えます。

これから、5回のシリーズで、国勢調査についてご紹介します。



国勢調査の始まり

総務省統計局が令和元年10月に発行した「国勢調査100年のあゆみ」によれば、第1回国勢調査は、明治38年(1905年)に行われる予定でしたが、その前の年に日露戦争が始まったために見送られ、また、その10年後の調査も第1次世界大戦のため見送られました。

その後、大正6年(1917年)に、衆議院で「国勢調査施行二関スル建議案」が可決され、大正9年(1920年)、原敬内閣のもと、待望の第1回国勢調査が実施されました。

こうして始まった国勢調査は、第二次世界大戦により中止となった昭和20年(1945年)を除き5年ごとに行われています。(昭和22年(1947年)に臨時国勢調査が行われています。)

第1回国勢調査時(大正9年)と現在

前回の国勢調査時(平成27年)と第1回国勢調査時(大正9年)を比べると、島根県の人口は平成27年にそれまでの最小だった大正9年時を下回り、初めて70万人を割りました。

また、人口割合は、15歳未満が33.2%から12.6%、65歳以上が7.9%から32.5%となり、この100年近くの間年齢構成が大きく変わり、少子化と高齢化が同時に進行しました。

世帯数は大幅に増加しましたが、世帯人員は大幅に減少し、核家族が増加したことがうかがえます。

島根県の国勢調査結果比較

事 項	大正9 年	平成27 年
人 口	714,712 人	694,352 人
年 齢 構 成	15 歳 未 満	33.2 %
	15～64 歳	12.6 %
	65 歳 以 上	55.0 %
世 帯 数	157,652 世帯	265,008 世帯
世 帯 人 員	4.49 人	2.53 人

次回は、「令和2年国勢調査の概要」をご紹介します。